

このクーポンで1,000円OFF

整体+カイロ&メンタルリフレッシュ

鈴木健康トータルケア

身体の不調には理由が
あります。
からだ
整体・カイロ
??疑問??に
お答えします。
治療方法をご提案します。

ココロ
セラピー

からだところの
バランスを取り戻しませんか?

【施術時間】
AM10:00~PM7:00
※最終受付午後5時

【施術費】
60分 5,000円
80分 6,000円

【定休日】
不定休

完全予約制 090-5850-8201

ピアゴ 黒笹町寺山908
黒笹駅
黒笹公民館
至三好丘
至日通
ココ (看板、P有り)
黒笹交差点から
東方向約100%
セブンイレブン
至黒笹

謹賀新年

日頃は格別のご愛顧を
賜り厚く御礼申し上げます
本年も何卒宜しく
お願い申し上げます

令和2年 初春

0120-090557

ダスキン愛豊

みよし市助生町曾和265-1

自転車・ファミリーバイク
販売修理 駐車場完備

三好丘中・北中通学車

予約受付中

錆びない
外れない

通学車の大定番
ベルトドライブ

キトウサイクル

出張修理OK! TEL36-0409

■営業時間 AM8:00~PM8:00
■定休日 毎週火曜日、第2月曜日

さんさんバス福谷バス停前

Hair Salon
Since 1963
HAYASHI

メンズカット一般 ヘアサロンはやし

2020 令和2年

謹んで新年のお喜びを
申し上げます

5日(日)から平常通り営業
しております。

1月より店内全面禁煙となりました。
店外に喫煙スペースをご用意して
おりますので、ご協力願います。

営業時間 AM8:00 - PM7:30 TEL 36-1305
定休日 毎週火曜日、第2・第3月曜日
※1月は、13~14日と20~21日が連休です。

みよし里山まもり隊 1月例会原則毎月第1土曜日

■主催 みよし里山まもり隊 ■ところ 三好丘緑地

【12月活動報告】7日、21日
ともに湿地と雑木林の手入れ
をしました。トウカイモウセン
ゴケが真っ赤に色づき、ソヨゴ

やマンリョウの赤い実とアオハ
ダ、コナラの黄色い葉が冬の森
に彩を与えてくれました。

▼12月の予定 山開き

必要な情報は切り抜いて

エコキャップ活動に協力いただけませんか

■主催・ところ 加塩久信 (三好町西荒田36-9)

キャップ860個、ワクチン
1本分(30円)。ささやかな活
動が世界中の子どもを助け、
さらに、資源としてリサイクル

することに、CO2の削減
にもつながります。10年ほど
の活動で、今までに通算620
万個、ポリオワクチン、約720

0人分を提供してきました。
キャップは汚れをすすぎ、
乾かして下さい。集めたキャ
ップは安城市にある協力企業
へ搬入しています。

▼問合せ 加塩 (衛建築のカ
シオ・三好下) TEL090-114
10-3819

いきもの語り交流スペースを活用してみませんか

■主催・ところ いきもの語り (助生町あさみ)

いきもの語りでは、地域の
皆さん方の交流や自主的な
活動にご利用いただける「地
域交流スペース(約14畳)」を
設けています。ご利用を通じ

▼利用時間 午前10時~午
後4時半。3時間までを「半日
利用」、3時間以上を「1日利
用」とさせていただきます。

▼使用料金 生活介護事業
で製作した自主製製品をご購入
下さい。半日利用は「団体様
300円以上、1日利用は、
500円以上」のご協力をお願い
いたします。▼問合せ いきも
の語り TEL0561-76-3749

身近な情報盛りだくさん。仲間や参加者、掲載者募集

「人をつなぐ」
「伝言スペース」

「掲載規定」みよし市
内で行われる、みよし市
民主権(中心)のイベント
や情報、営利性の低いも
の(高額でない入場料や必要最

小限の参加費、材料費などを徴
収するものは可)などを優先
します。

掲載希望者は、編集部
までお問い合わせ下さい。
原稿作成もお手伝いしま
す。

▼編集部 TEL 36-4344

「食品ロス」を活用してみませんか

■主催・ところ 三好丘緑地バンク支援センター(三好丘緑地集会所)

まだ食べられるのに、捨て
られてしまう食品のことを
「食品ロス」と呼びます。こ
の食品ロスを減らし、賞味期
限や品質をしっかりと管理した
上で、必要な団体などへ無償
で提供しています。三好丘緑
地行政区の社会貢献事業として

▼問合せ 三好丘緑地集
所 TEL0561-36-1151

「食品を寄付し
たい」という方もお
問合せ下さい。

新鮮食品や冷
凍食品は不可です。

利用、3時間以上を「1日利
用」とさせていただきます。

▼使用料金 生活介護事業
で製作した自主製製品をご購
入下さい。半日利用は「団体様
300円以上、1日利用は、
500円以上」のご協力をお願い
いたします。▼問合せ いきも
の語り TEL0561-76-3749

今年のお休み
6(月)・7(火)
13(月)・14(火)
20(月)・21(火)
27(月)

hair concept
Natural's
TEL33-0503 (三好丘旭4)

1~2月の予定

地域関連

◎新聞販売店古紙回収日程
出原新聞店...1/14(火)・1/15(水)
加藤新聞店...1/6(月)・1/20(月)
長谷川新聞店...1月はあります。
※各曜日の回収対象エリアは、それ
ぞれの販売店でご確認ください。

小中学校関連

学校行事はHPなどを参考にしています。

小・中リサイクル
1/11(土)天王小
1/18(土)三吉小
1/25(土)三好丘中
2/15(土)北中

1/15(水)三好中1年生福祉実践教室
1/15(水)~17(金)南中2年生職場
体験学習
1/23(木)三好丘中職場体験発表会
1/25(土)三吉小40周年記念式典
2/7(金)北中泰斗式・地域貢献活動
2/13(木)北部小4年防災教室
2/15(土)川淵三郎杯サッカー大会
2/18(火)北中「公正取引委員会
出前授業」
2/28(金)南部小猿投山ラリー

みよし市関連

1/12(日)成人式[サンアート]
1/18(土)・2/2(日)防災リーダー
養成講座[みよし市役所]
2/2(日)NHK公開収録「みんな
DEど〜も君[サンアート]
1/26(日)新春駅伝マラソン大会
2/3(月)コミュニティみよし
第47号発行。原稿締切は
1月19日(土)です。

初めまして。今回不思議なご縁があつて3回にわたり連載をさせて頂くことになりました。

私は旧藤岡町で10年、三好で12年ほど学習塾の講師として子ども達や保護者の方々とも接してきました。子ども達の世界は社会の縮図とよく言われますが、まさにその通りで、長い間仕事をしていると、まるで定点観測をしているかのように、世相の移り変わりが見えてきます。

この連載では、塾の窓辺から見えてくる世相のいろいろをお話してみたいと思います。

以前働いていた地域は、学区に従来の農村部と、新しい住民が住む新興住宅地があり、塾にも両方の地区から子どもたちが通っていました。同じ学年の生徒でも地区が違うと全く雰囲気が違うのです。その時気付いたのは、お線香の残り香のする子は情緒が安定していて、社会性も高いということ。三世帯同居で、昔からのコミュニティが残っている地区であることが影響しているようでした。

2回目は「お母さん(仮題)」

今でも思い出すのは、少しやんちゃをしていた子たちのことです。中学時代に少しいなくなり、高校生くらいになり軌道修正して元の道に戻ってこられた子と、そうでない子との違いは、やはりこういう環境の差だったようですね。

親世代にとっては煩わしいと思われがちな田舎のお付き合いも、子どもの育ちにとってはプラスの面も多く、もう少し見直されても良いのでは、と私は思うのです。

「芽を伸ばそう。花を咲かそう」。マンツーマンで子どもやお母さんに寄り添いつつ、学びのこつや進路についてアドバイスしている「ひまわりラボ」。

天王神社(新屋地区)すぐ近くにあるひまわりラボには、講師の深谷麻紀子さんと子どもたちを「その存在」で元気づける3匹の猫たちがいます。「この子たちは高いところへ上がっても落ちない。うまく着地する」という能力にあやかり、彼らにひげを「お守り」として子どもに持たせているという深谷さん。人間の言葉を発しない彼らの目には「人間社会」はどのように見えているのでしょうか?

例えば昨今問題になっている読解力の低下など(日本は15番目)はわが国は学校教育のせいにはされがちですが、実際には私がこの仕事を始めた20年以上前からその芽はあり、問題の根はどちらかといえれば社会と家庭環境の変化によるものが大きいように見受けられます。

この問題に於いても機会があればお話ししたいのですが、今回は「地域と子どもとの関係」を取り上げたいと思います。

また祖父母という、丸ごとの自分を否定せずに100%受け入れてくれる存在も大きい。何かで心が折れそうになったとき、そういう人が身近にいてくれることで何とかギリギリのところで踏ん張れるのです。三世帯同居は子どもたちにとって、悪いことではないと感じます。

今でも思い出すのは、少しやんちゃをしていた子たちのことです。中学時代に少しいなくなり、高校生くらいになり軌道修正して元の道に戻ってこられた子と、そうでない子との違いは、やはりこういう環境の差だったようですね。

親世代にとっては煩わしいと思われがちな田舎のお付き合いも、子どもの育ちにとってはプラスの面も多く、もう少し見直されても良いのでは、と私は思うのです。

天々のひげだより

子ども達が成長過程で影響を受けるもので、皆さんの思い浮かべるものって何でしょうか。学校?家庭?それらも勿論なのですが、実は地域社会やそのとき流行したものの育ち、社会変化も子どもの育ちには大きく影響します。

例えれば昨今問題になっている読解力の低下など(日本は15番目)はわが国は学校教育のせいにはされがちですが、実際には私がこの仕事を始めた20年以上前からその芽はあり、問題の根はどちらかといえれば社会と家庭環境の変化によるものが大きいように見受けられます。

この問題に於いても機会があればお話ししたいのですが、今回は「地域と子どもとの関係」を取り上げたいと思います。

また祖父母という、丸ごとの自分を否定せずに100%受け入れてくれる存在も大きい。何かで心が折れそうになったとき、そういう人が身近にいてくれることで何とかギリギリのところで踏ん張れるのです。三世帯同居は子どもたちにとって、悪いことではないと感じます。

今でも思い出すのは、少しやんちゃをしていた子たちのことです。中学時代に少しいなくなり、高校生くらいになり軌道修正して元の道に戻ってこられた子と、そうでない子との違いは、やはりこういう環境の差だったようですね。

親世代にとっては煩わしいと思われがちな田舎のお付き合いも、子どもの育ちにとってはプラスの面も多く、もう少し見直されても良いのでは、と私は思うのです。

写真提供: 深谷さん「天々(てんてん)」